



第50号  
BenHouse  
編集 尾上大輔  
姫路市南条637  
TEL:079-222-5500  
www.benhouse.co.jp  
バックNO.は上記WEBで

「東北三大祭りは、やっぱりねぶたが一番」

日曜日の朝、駅で青森經由秋田の往復切符を買っていざ出発です。片道600キロ以上は無理しても往復切符を買うほうがお得です。青森へ行くのは40年ぶり、青函連絡船待ちで、駅前を散歩したのですが、さいはてが似合うひなびた町だったかな。飛行機でひとつ飛びなんですが、電車が好きというか、飛行機が嫌いというか、電車です。東京まで、3時間10分、八戸まで3時間、青森まで1時間。着いたのは8時間後の夕方5時でした。けっこう早いもんだ、ほとんど寝ていたら、「もうついたらん？」かな。はて、青森駅は、けっこう町になっておりました。姫路よりでかい。さて、暗くなるまでに行ける所はないかいな？ありましたありました、青函連絡船の八甲田丸が博物館に見たことない人にお知らせしよう。むかしむかし津軽海峡に青函トンネルがない頃、列車が船にそのままつまれて乗客ごと海

を渡っていたんですよ。写真には船まで続くレールが写っています。八甲田丸が青函連絡船博物館になって後世を送っておりました。船内には青函連絡船の歴史が展示してありました。特に気になったことは、第二次世界大戦中に、青函連絡船は徹底的に攻撃されて10隻がごとごとく沈められた。北海



道より石炭を運んでい燃料輸送を止める目的で行かなくていい。事実です。とっておきの青森グランドホテル、当日朝に予約して取れるなんてずいぶんぼつてるみたい、ねぶた特別価格1万5千円でしよ。たから、でもマンガ喫茶に寝たりました。フロントで、「お支払いがたや。フロントです。」えー

信用あるやん僕。でも私的には早く払う方がありがたい。お金をなくす確率があるの、支払いは何でも早いほうがいいですよ。BenHouseのお客様もよろしくお願いいたします。



幅9m・奥行き7m、骨組みは角材で支柱を組み、針金で形を作られます。明かりはというと、昔はろうそくを使っていたんですが、今では専門の電気配線工を使ってねぶたの内側に電球や蛍光灯を600〜800個ほど取り付けます。なんと総容量は約2万Wです。へ〜じゃ電源は？エンジン式発電機が大量に積まれています。ねぶたの総重量はなんと約4tです。それを大型車の車軸とタイヤでつくった台車にのせて運行します。だから、ちよつと排気ガスのにおいも、迫力あるねぶたの後は、ハネト(踊り子)が、笛と太鼓で100人くらい、「らっせらっせらっせ」と、踊りながら続きます。けつこうな迫力です。ねぶたの台数

は20台くらいが時計回りに街を練り歩きます。周回コースは姫路で言えば一辺が大手前通りの四角くらいをゆっくり回ります。姫路のお城祭りのパレードは直線一本ですが、ねぶたは2回位回ってました。棧敷席なる物が組まれ、一席二千五百円くらいが相場です。いずれも遠来の観光ツアーのおばちゃんおじちゃんがお金を払っていたようです。大ちゃんはずいずいいますと、じつとしていないで反対回りに回るとしていきま。そんなおニューがやってくる、そんなおニュー見たなどと、言いながらビールと串焼きをいただきました。姫路の暴走族みたいになりました。カラス族がいて、怖いのかなと思ってきましたが、お見事に排除してました、やっぱりこれは住民パワーと警察の連携の賜物なんだでしょうね。やっぱりお祭りは子供でも楽しめる安全がいいな。さて、青森名物はなんじゃいなと居酒屋へ、「ほたてみそ焼き」、名前はおいしそうでしょ、でも700円もした割にはペケでした。おなかもいたっぱいになりながらの帰り道に、「しじみラーメン」なる物が、ムリ〜と思いつつ、「やっぱりしじみラーメン一つ。」



てしもた。やつぱりさつきの「ほたてみそ焼き」の失敗を青森で取り返したかったの。これは美味、メニュー写真より少ないと思つてたしじみさんも底の方で大量に発見、700円の幸せを汁までいただきました。近年になくおなかパンパン、どうしましょダイエツト。寝る前のビールは今日はやめと硬く決心しホテルへと帰りました。おなか張りすぎるとネオンへは行かない。これはすごい大発見だよ。



「東北三大まつり、秋田と仙台はおまけ？」

翌日は、青森から秋田へ特急で2時間30分でした。ここからはIT平成会キヤノン有力販売店会)の研修旅行に合流です。日本一にエイコーさんと各、各地に一番の販売店の会です。(Ben Houseは大分格落ちです。夕方集合で早速秋田の有名料理屋さんへ、あわびの酒蒸し、大間のマグロが三切れ。なんと皆さんはお金持ちなんでしよう。昨日までとは大違

ない。でもなれない。その後の大変な事に。食事から、竿灯祭りです。今晩は上等に予約席です。竿灯祭りはねぶたと同じところに同じチームが、竹ざおに一杯ちようちんぶら下げて、お隣子にあわせて、立つてるだけ。たまにパフォーマンスでおでこのせたり、肩に乗せたりです。けっこうきわどく上手なんです。なんとも動きが少くない。目の前のチームは移動しないもんだから、いつまでも一緒。我々も棧敷席ですから移動しない。退屈&狭い。大ちゃんむずむずエスケープです。そのうち東北の肌寒さがこたえ、大変なことに、トイレに駆け込むが、なかなかそばを離れられない。意味分かる？と戻ると、い



が全買いない。お仲間「はくれた。」皆さん2次会へ行つたべが。しめた。ルへ帰る。幹事さんに連絡しよつかと迷



ているうち。お楽しみ中に電話もぶしつけと寝る。翌朝、エレベーターの前でばったり。おはようございます。「きのう皆さんでずいぶん探しましたよ」。「ちよつと腹の具合が悪くホテルに帰りました。」「その体でそれはないやろ、それなら幹事に一言くらい」「すみませーん」「がーん」である。その後



の朝食は幹事さんお隣、「なにをしゃべろう、うーカバーしなれば」と思つて食べた朝食はおいしくなかつたな。翌日は、盛岡の小石井農場へ、ここの風景はイーハトーブといわれ小岩井農場一本桜が有名です。岩木山と桜と牧場きれいでしょ。写真はシーズン違いの借り物です。悪しからず。多分5月です。はい。これは仙台に移動して七夕祭り、これはたいしたことはありませ

り。御幸通を飾り物にするだけであるだけ。えんだけ。も、歩きにしたい。宿



泊は秋保温泉の「佐勘」です、もしかしたら東北一の高級旅館ではないでしょうか。ここでもお料理は最高。一泊5万円位でしょうか、へ。朝食がすごいんですよ、バイキングなんですけど、板前さんがその場で厚焼き玉子とか焼いてくれるんですよ。なんと、バイキングなのに20人くらいがフルサービスです、こんなん初めてですね。バスで帰るときには「また、いらしゃつてください。」の横断幕です、ここまでやるか、高級旅館。経験経験、これもBen Houseを大きくするためよ。ゆるせ、奥方。その後IT平成会の皆さんと解散して、あとは寅さんよろしく一人旅ここまで来て日本三景の「松島」見ずに帰れるもんか。松島へは電車で30分です。遊覧船でもめに戯れ、岩がき食べて、古刹の瑞巖寺、円通院訪れて、仙台へ戻りました。お土産は仙台にしか売って

いないまぼろしのお菓子、秋の月」を買つて一路姫路へ5時間20分つけよう新幹線も早いでしょう。伊丹でもたもたしてたら、どつちが早いやら。姫路へ帰ったのは10時40分。3泊4日の東北旅行、明日の仕事は大丈夫？



した。